



平成 18 年 11 月 17 日

各 位

会 社 名 IMV株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 小嶋 成夫
(J A S D A Q ・ コード 7 7 6 0)
問合せ先 取締役専務執行役員 中村 雅彦
電話 0 6 - 6 4 7 8 - 2 5 6 5

中期事業計画の一部修正について

当社グループは、2006年9月期の業績を踏まえ、2005年11月18日に開示しております中期事業計画「PRESTO 7715」(2006年9月期～2008年9月期)について、新たなチャレンジとして取り組むために「PRESTO 2008」に名称を変更すると共に、下記の通り一部修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 修正目標 (連結)

	当初目標 2008年9月期	今回修正目標 2008年9月期	(参考目標) 2009年9月期
売 上 高	77億円	67億円	77億円
売上高対経常利益率	15%以上	15%以上	-
輸 出 比 率	15%以上	15%以上	-
配 当 金	-	6円	-
配 当 性 向	15%以上	-	-

2. 修正理由

2006年9月期の業績が予想未達となった原因である受注遅れの影響に鑑み、2008年9月期の売上高目標を67億円に修正いたします。当初目標であった77億円については、2009年9月期の目標として再設定いたします。

また、株主還元の方針をより明確にするために、配当性向を15%以上とする目標を、配当金を6円とする目標に変更いたします。

生産改革によるコストダウンや海外事業への更なる経営資源の投入等により、売上高対経常利益率及び輸出比率を15%以上とする目標は変更せずに据え置きます。

上記の通り、数値目標を一部修正いたしますが、基本戦略は変更せず、それを実現するための具体的な機能戦略・事業戦略を一部見直すことで中期目標達成を目指し、総合環境シミュレーション業界のリーディングカンパニーとして持続的な成長を実現してまいります。

以上

(別紙：中期事業計画「PRESTO 2008」)

中期事業計画

PRESTO 2008

(2006年9月期～2008年9月期)

SECURE THE FUTURE
IMV株式会社

1 一部修正について

SECURE THE FUTURE
IMV CORPORATION

基本戦略は変更しない

基本戦略は変更せず、それを実現するための具体的な機能戦略・事業戦略を一部見直すことで中期目標達成を目指し、総合環境シミュレーション業界のリーディングカンパニーとして持続的な成長を実現してまいります。

数値目標を一部修正

2006年9月期の業績が予想未達となった原因である受注遅れの影響に鑑み、2008年9月期の売上高目標を67億円に修正いたします。当初目標であった77億円については、2009年9月期の目標として再設定いたします。

また、株主還元の方針をより明確にするために、配当性向を15%以上とする目標を、配当金を6円とする目標に変更いたします。

生産改革によるコストダウンや海外事業への更なる経営資源の投入等により、売上高対経常利益率及び輸出比率を15%以上とする目標は変更せずに据え置きます。

2 基本戦略

SECURE THE FUTURE
IMV CORPORATION



(C)2006 IMV Corporation. All Rights Reserved.

3 数値目標

SECURE THE FUTURE
IMV CORPORATION

【修正目標(連結)】

	2006年9月期 (実績)	2007年9月期 (予想)	2008年9月期 (予想)	2009年9月期 (参考)
売上高	49.5億円	58.5億円	67億円	77億円
経常利益率	12%	12%	15%以上	-
輸出比率	8%	10%	15%以上	-
配当金	4円	5円	6円	-
配当性向	20%	19%	-	-

2006年9月期の配当金につきましては、2006年12月開催予定の定時株主総会において1株当たり4円の配当を附議する予定であります。
2007年9月期の配当金につきましては、通常配当4円に50周年記念配当1円を加え、合計5円とする予定であります。

【当初の目標(連結)】

	2006年9月期 (予想)	2007年9月期 (予想)	2008年9月期 (予想)
売上高	57億円	-	77億円
経常利益率	12%	-	15%以上
輸出比率	-	-	15%以上
配当性向	-	-	15%以上

(C)2006 IMV Corporation. All Rights Reserved.

SECURE THE FUTURE

～IMVが見守る未来～

FIRST Choice for our Partners

Future 安全を見つめて未来の社会に貢献します

IMV works with our customers and investors to secure their future by developing the products, skills and resources that will bring success. We appreciate this and work fast to meet our Partners' future needs.

Integrity 誠実で開かれたパートナーシップを大切にします

IMV treats our customers, suppliers and investors with the highest of integrity, and deals with all our partners in an open and honest manner. We work hard to earn and keep your trust.

Reliability 製品とサービス、すべてに信頼を作り込みます

Our customers use IMV's products to ensure reliability and performance. We build this reliability into all our products and services. We will be there when you need us.

Strength 振動技術の世界リーダーとして経営基盤を強化します

IMV's financial strength means we will be a long-term partner for our customers and able to invest in the research for new products. We have the strength in finances, products and people to serve our customers on a global basis. We have the strength to be the World's Number 1 Vibration Test and Measurement Company.

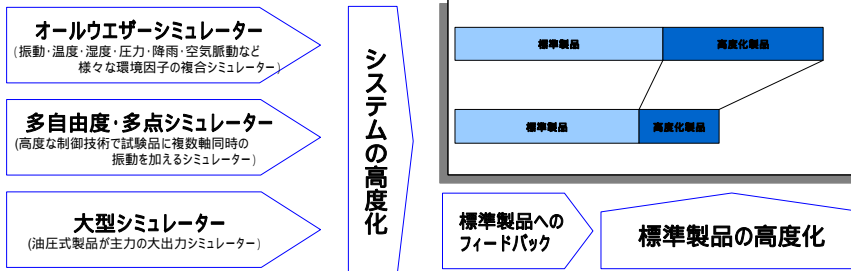
Technology 顧客ニーズに俊敏に応える技術を開発します

IMV invest substantially in research to understand our Customer's needs and the products to meet those needs. We have been the first to market with many new products and technologies, we will continue to lead the market through technology and innovation for the benefit of our customers and investors.

(C)2006 IMV Corporation. All Rights Reserved.

1. 振動シミュレーションシステム(DSS)

システムの高度化に対応



“被試験体が実際に遭遇する環境を忠実に再現する”という試験リアリズムの観点に立って、多くのダイナミックシミュレーターを開発してきました。

自動車のハイブリッド化や燃料電池車化などの技術革新に伴い、試験内容についても従来とは異なった、より高度な手法が求められています。益々高まる振動シミュレーターへの高度化要求に応えるために、オールウェザーシミュレーターについては周辺装置の製造技術開発と内作化を進めています。6自由度シミュレーターは当社独自のCAT技術であり、その応用範囲は広がりを見せています。各種センサーの校正や人体振動分野へのアプリケーション開発にも取り組んでいます。

基盤技術開発として試験規格そのものにも着目し、外部研究機関との連携により従来概念にとられない新たな試験手法の開発を進めています。

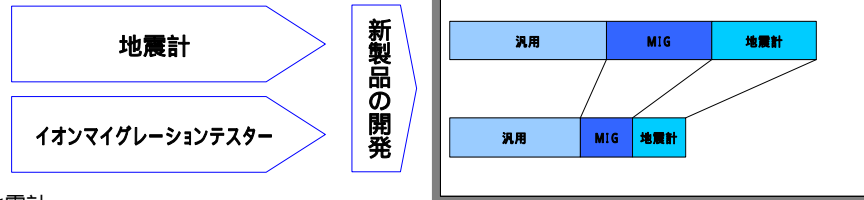
(C)2006 IMV Corporation. All Rights Reserved.

6 成長への5つのシナリオ

SECURE THE FUTURE
IMV CORPORATION

2.メジャリングシステム(MES)

新製品の開発でシェア拡大



地震計

地震が多発するわが国では社会インフラの整備と平行して防災対策は重要な課題の一つです。当社の地震計は、災害発生時の上下水道・半導体工場・発電所などの緊急遮断に広く活用されております。しかしながら、今後の地震計に求められる市場ニーズは変化しています。小型高精度化 / 加速度から計測震度の計測へ / 実被害に対応したS1値計測 / ISDN通信網からIP (LAN / WAN) 対応へ。当社は市場ニーズに対応した新しい地震計のラインアップを開発し提供していきます。

イオンマイグレーションテスター

自動車におけるハイブリッド化・燃料電池化・電装品比率の増加、さらにはデジタル家電化などの変化を受けて、新材料や新実装技術のスピーディーな評価が求められています。信頼性評価のスピードアップや試験条件の多様化に応えるテスターの開発が望まれています。これら要望に応えるため、技術力をアドバンテージに新型テスターの開発を複数進行させており、今後新製品として投入していきます。

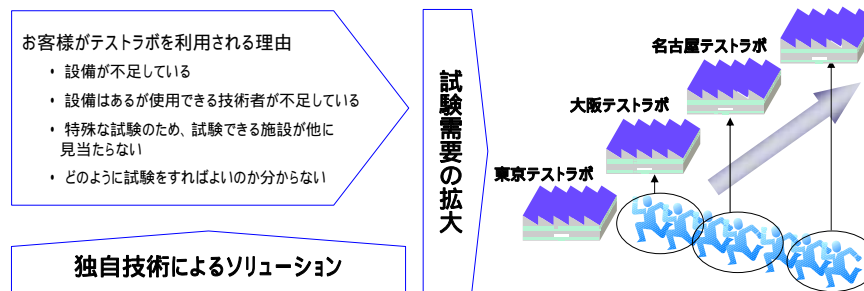
(C)2006 IMV Corporation. All Rights Reserved.

7 成長への5つのシナリオ

SECURE THE FUTURE
IMV CORPORATION

3.テスト&ソリューションサービス(TSS)

テストラボ サイトを拡大 増加する需要に独自技術で対応



お客様がテストラボを利用される理由

- ・設備が不足している
- ・設備はあるが利用できる技術者が不足している
- ・特殊な試験のため、試験できる施設が他に当たらない
- ・どのように試験をすればよいか分からない

独自技術によるソリューション

当社テストラボでは単純な試験受託に加え、従来は実施困難であった試験についてもユニークなアイデアと高度技術を駆使してそれを可能にまいりました。例えば試験品の形状が複雑で大きいため、現存する設備では到底実現できなかった試験についても、マルチコントロール技術(独自技術)を活用し、標準的なシミュレーターを複数同時に運転することによりこれを実現させるなど、お客様の要望にお応えしています。

技術伝承が困難になってきていること、また開発リードタイムの短縮といった環境変化が急速に進んでいることなどにより、すべての試験を企業内で実施すること自体が困難になってきています。益々増加する需要にサイトの増設及びサービスメニューの多様化により対応していきます。

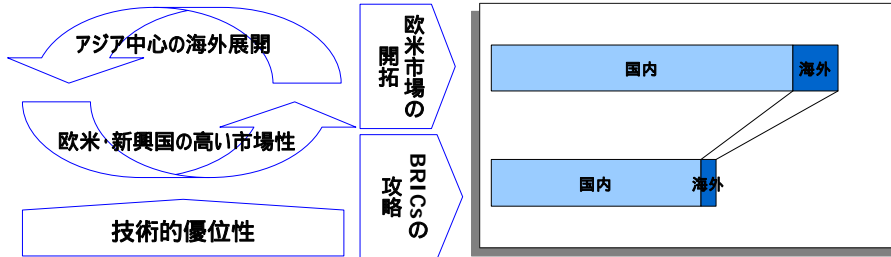
(C)2006 IMV Corporation. All Rights Reserved.

8 成長への5つのシナリオ

SECURE THE FUTURE
IMV CORPORATION

4. 海外事業強化

海外事業部を増強 多様な市場へのアプローチ



当社の輸出比率は8%程度で、そのほとんどが東南アジア向けとなっています。日本を代表する自動車産業の技術革新に伴って、その基盤となる試験技術も世界のトップクラスに成長してきており、欧米諸国と比較しても十分なアドバンテージを有するシミュレーターを提供できるレベルになりました。

これら差別化できたシミュレーターを武器に、市場性の高い欧米や、成長著しいBRICs等の新興国市場への製品販売を強化するとともに、海外では大きな市場を形成するテストラボ事業において、現地メーカーとのコラボレーションを推進し、製品販売とのシナジーを追求していきます。

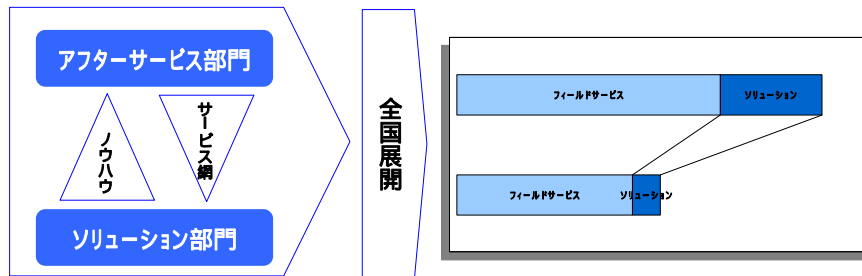
(C)2006 IMV Corporation. All Rights Reserved.

9 成長への5つのシナリオ

SECURE THE FUTURE
IMV CORPORATION

5. エンジニアリングサービス事業強化

エンジニアリングサービス部を新設 アフターサービス部門とソリューション部を統合



アフターサービス部門はサービスメニューの充実とネットワークを活かしたサポート体制により、顧客満足度の高いカスタマーサービスを提供しております。

ソリューション部門は顧客の振動問題解決を全面的に引き受け、現場における計測、解析、及び改善提案まで数多くの仕事を手掛け、ノウハウを蓄積してきました。

全国展開するアフターサービス網とソリューション業務を融合することで、フィールドにおける振動問題の解決に対し、機動的に対応することが可能となり、蓄積したノウハウの全国展開により事業を拡大していきます。

(C)2006 IMV Corporation. All Rights Reserved.

本資料お取扱上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。